

ヒロイン

作詞 清水依与吏

作曲 清水依与吏

唄 back number

君の毎日に 僕は似合わないかな 白い空から 雪が落ちた
別にいいさと 吐き出したため息が 少し残って 寂しそうに消えた

君の街にも 降っているかな ああ今隣で

雪が綺麗と笑うのは君がいい でも寒いねって嬉しそうなのも
転びそうになって 掴んだ手のその先で ありがとうって楽しそうなのも
それも君がいい

気付けば辺りは ほとんどが白く染まって 散らかった事 忘れてしまいそう
意外と積もったねと メールを送ろうとして 打ちかけのまま ポケットに入れた

好まれるような 強く優しい僕に 変われないかな

雪が綺麗と笑うのは君がいい 出しかけた答え胸が痛くて
渡し方もどこに捨てればいいのかも分からずに 君から見えてる景色に
ただ怯えているんだ

思えばどんな映画を観たって どんな小説や音楽だって
そのヒロインに重ねてしまうのは君だよ 行ってみたい遠い場所で見たい夜空も
隣に描くのはいつでも

見慣れたはずの 街がこんなにも 馬鹿だなあ僕は

君の街に白い雪が降った時 君は誰に会いたくなるんだろう
雪が綺麗だねって誰に言いたくなるんだろう 僕は やっぱり僕は

雪が綺麗と笑うのは君がいい でも寒いねって嬉しそうなのも
転びそうになって 掴んだ手のその先で ありがとうって楽しそうなのも
全部君がいい